

親グマ「漁」巧みに

8月の知床半島 写真家阿部幹雄さん撮影

定置網にかかったカラフトマス
 スをヒグマがガブツ——。そんな瞬間を、札幌市在住の写真家阿部幹雄さん(59)が8月下旬、知床半島の海岸で撮影した。知床では数年前から漁師らが目撃していたというが、瞬間をとらえた貴重な写真だ。

長く知床を撮影している阿部さんは、今夏も知床の植生などの撮影のため、シーカヤックで海岸線を移動していた。その際、岸から沖に向かって盛んに鳴き声をあげる子グマを目撃、海に目を転じると、親グマが「漁」をしていたという。

子グマを岸に待たせ、魚を探すように海中をのぞきながら数十回泳ぎ、網にかかったマスを口と手を使って器用に外して岸に戻り、また繰り返す。数分離れた海岸でも、同様に餌を確保する親子がいたという。



網からいただき 網から器用に外したカラフトマスをくわえるヒグマ



海中の魚を探して泳ぐ

水中のぞいて獲物探し



行ってらっしゃい

岸に子グマを残し、泳ぎ出す親グマ



網にかかったカラフトマスを口で外す

お帰り「ちそうは？」



カラフトマスをくわえて岸に戻ると、子グマがもの欲しげに寄ってきた。いずれも知床半島、阿部幹雄さん撮影